



2008年3月期第1四半期決算 プレゼンテーション

平成19年8月28日
加賀電子株式会社
(東証1部:証券コード8154)

2008年3月期 第1四半期 決算ハイライト

2008年3月期 第1四半期決算ハイライト

連結損益計算書の業績比較

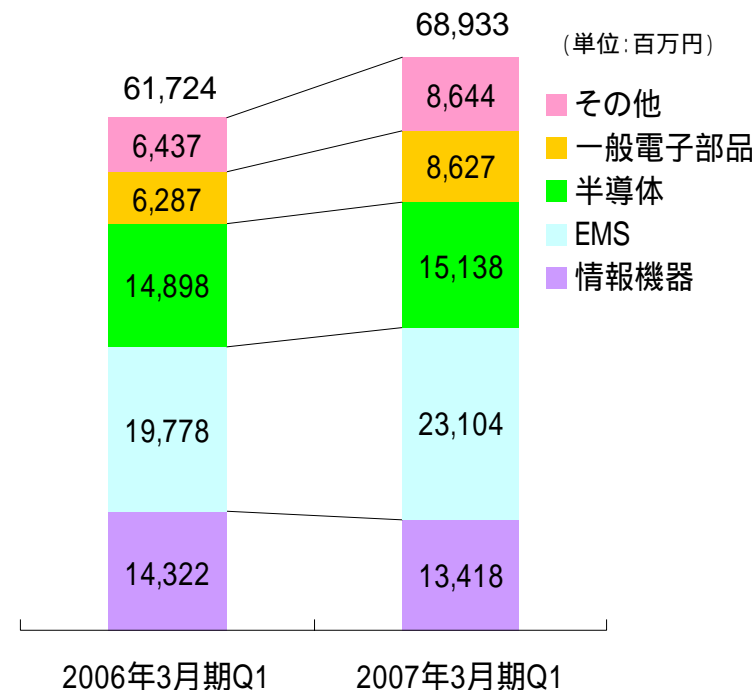
(単位:百万円)

	2007年3月期 Q1		2008年3月期 Q1		増減
売上高	61,724	100.0%	68,933	100.0%	7,208
売上原価	54,345	88.1%	60,842	88.3%	6,497
売上総利益	7,379	11.9%	8,090	11.7%	711
販売費及び一般管理費	6,172	10.0%	6,708	9.7%	535
営業利益	1,206	1.9%	1,381	2.0%	175
営業外収益	188	0.3%	246	0.3%	58
営業外費用	268	0.4%	87	0.1%	-180
経常利益	1,126	1.8%	1,540	2.2%	414
特別損益	-16	-0.02%	-95	-0.1%	-79
税金等調整前当期純利益	1,110	1.8%	1,446	2.1%	335
法人税及び住民税	447	0.7%	674	1.0%	227
法人税等調整額	97	0.2%	107	0.1%	9
少数株主利益	-10	-0.01%	-17	-0.02%	-6
当期純利益	576	0.9%	681	1.0%	105

連結商品分類別売上高実績（2007年3月期Q1及び2008年3月期Q1実績）比較

(単位:百万円)

	2007年3月期 Q1		2008年3月期 Q1		増減
情報機器	14,322	23.2%	13,418	19.5%	-904
EMS	19,778	32.0%	23,104	33.5%	3,326
半導体	14,898	24.2%	15,138	22.0%	240
一般電子部品	6,287	10.2%	8,627	12.5%	2,340
その他	6,437	10.4%	8,644	12.5%	2,207
計	61,724	100.0%	68,933	100.0%	7,209



主な増減のポイント

「EMS」売上高:前年同期比+3,326百万円(16.8%増)

加賀電子本体の遊技機器向け液晶ユニット等が好調に推移したことや、今期より分社化にてグループ会社となった加賀アミューズメント株式会社のアミューズメント機器等の売上が増加したため、売上高の前年同期比は+3,326百万円となった。

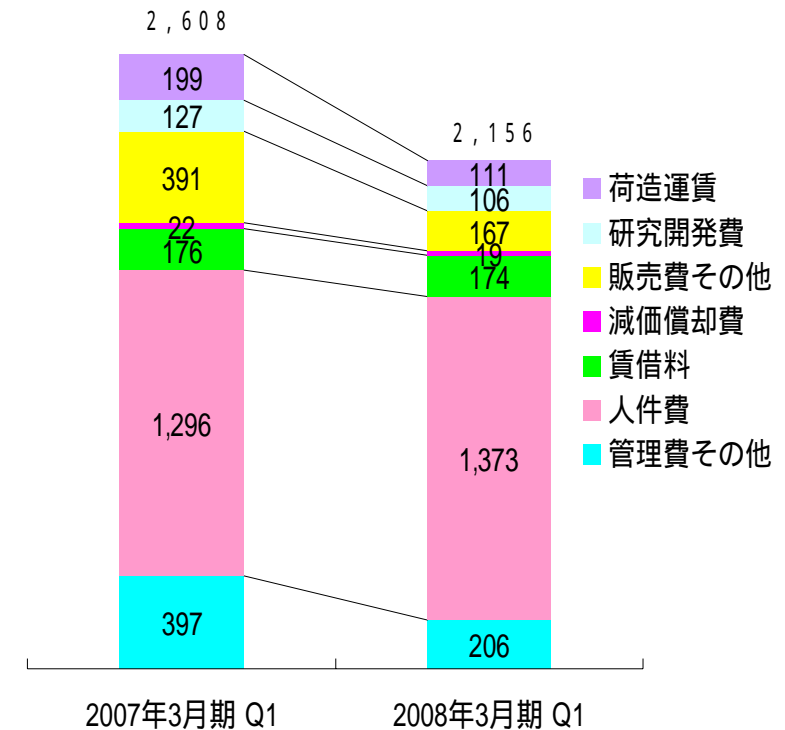
「一般電子部品」売上高:前年同期比+2,340百万円(37.2%増)

加賀電子本体の遊技機器向け一般電子部品の売上増加と、前下期より連結子会社となった大塚電機株式会社による熱対策用電子部品等の売上高が増加したため、売上高の前年同期比は+2,340百万円となった。

・ 販売管理費の状況 (2007年3月期Q1及び2008年3月期Q1)

(単位:百万円)

	2007年3月期 Q1		2008年3月期 Q1		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
荷造運賃	199	7.6%	111	5.1%	-88
研究開発費	127	4.9%	106	4.9%	-21
その他	391	15.0%	167	7.7%	-224
販売費計	717	27.5%	384	17.8%	-333
減価償却費	22	0.8%	19	0.9%	-3
賃借料	176	6.7%	174	8.1%	-2
人件費	1,296	49.7%	1,373	63.7%	77
その他	397	15.2%	206	9.6%	-191
管理費計	1,891	72.5%	1,772	82.2%	-119
販管費合計	2,608	100.0%	2,156	100.0%	-452



主な増減のポイント

販売費: 昨年10月より加賀ハイテック株式会社へ移管された、加賀電子本体による旧ITM事業部の荷造運賃費などを削減することができたため、販売費は前年同期比 - 333百万円(46.4%減)となった。

管理費: 前下期より加賀ハイテック株式会社に加わったコダック事業や同期より連結対象子会社となった大塚電機株式会社の人件費が増加したものの、グループ全体での効率化経営の進捗が堅調に推移し、管理費は前年同期比 - 119百万円(6.2%減)となった。

社員数: 前年同期比202名増加。(4,614名 4,816名)

2008年3月期 第1四半期決算ハイライト

連結貸借対照表の業績比較

(単位:百万円)

	07年3月期 (2007年3月31日現在)	08年3月期Q1 (2007年6月30日現在)	増減
(資産の部)	125,812	131,479	5,667
流動資産	107,853	112,327	4,474
現金及び預金	14,568	16,165	1,597
受取手形・売掛金	67,464	66,882	-582
棚卸資産	19,727	22,191	2,464
その他	6,094	7,089	995
固定資産	17,959	19,151	1,192
有形固定資産	5,495	5,635	140
無形固定資産	1,567	1,697	130
投資等	10,896	11,818	922
資産合計	125,812	131,479	5,667

	07年3月期 (2007年3月31日現在)	08年3月期Q1 (2007年6月30日現在)	増減
(負債の部)	72,763	77,716	4,953
流動負債	67,059	72,557	5,498
支払手形・買掛金	54,217	55,073	856
短期借入金	7,045	11,385	4,340
その他	5,797	6,099	302
固定負債	5,704	5,159	-545
長期借入金	2,378	1,718	-660
その他	3,326	3,441	115
(純資産の部)	53,049	53,762	713
株主資本			
資本金	12,133	12,133	0
資本剰余金	13,912	13,912	0
利益剰余金	25,161	25,126	35
自己株式	-80	-81	-1
評価・換算差額	1,787	2,566	779
少数株主持分	134	104	-30
負債・純資産合計	125,812	131,479	5,667

連結キャッシュフロー計算書(2007年3月期Q1及び2008年3月期Q1)の比較

(単位:百万円)

	2007年3月期Q1	2008年3月期Q1	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	-524	-1,149	-625
投資活動によるキャッシュフロー	-917	-596	321
財務活動によるキャッシュフロー	-1,735	3,057	4,792
現金等に関わる換算差額	-40	286	326
現金等の増加額(減少額)	-3,217	1,597	4,814
現金等の期首残高	20,131	14,558	-5,573
現金等の期末残高	16,914	16,155	-759

主な増減のポイント

営業活動によるキャッシュフロー:主に棚卸資産の増加が上回ったため - 1,149百万円の資金使用となった。

投資活動によるキャッシュフロー:主に有形固定資産の取得により、- 596百万円の資金使用となった。

財務活動によるキャッシュフロー:主に金融機関からの短期借入れの増加により、+ 3,057百万円の資金獲得となった。

2008年3月 中間決算予想 (5月10日決算発表時の予想から変更ございません)

連結損益計算書の計画比較 (2007年3月期中間実績及び2008年3月期中間予想)

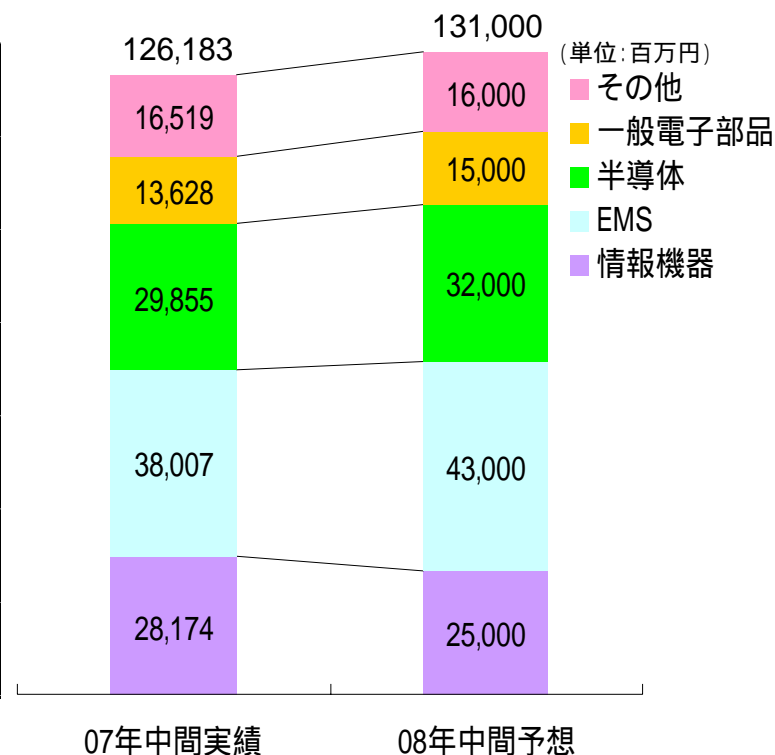
(単位:百万円)

	2007年3月期 中間期実績		2008年3月期 中間期予想		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	126,183	100.0%	131,000	100.0%	4,817	3.8%
売上原価	110,653	87.7%	114,900	87.7%	4,247	3.8%
売上総利益	15,530	12.3%	16,100	12.3%	570	3.7%
販売費及び一般管理費	12,704	10.1%	14,300	10.9%	1,596	12.6%
営業利益	2,826	2.2%	1,800	1.4%	-1,026	-36.3%
営業外損益	214	0.2%	100	0.1%	-114	-53.3%
経常利益	3,040	2.4%	1,900	1.5%	-1,140	-37.5%
特別損益	-54	-0.04%	-100	-0.1%	-46	-46.0%
税金等調整前当期純利益	2,987	2.4%	1,800	1.4%	-1,187	-39.7%
法人税等	1,342	1.1%	1,100	0.8%	-242	-18.0%
当期純利益	1,645	1.3%	700	0.5%	-945	-57.4%

連結商品分類別売上高予想（2007年3月期中間実績及び2008年3月期中間予想）比較

(単位:百万円)

	2007年3月期 中間実績		2008年3月期 中間(予)		増減
情報機器	28,174	22.3%	25,000	19.1%	-3,174
EMS	38,007	30.1%	43,000	32.8%	4,993
半導体	29,855	23.7%	32,000	24.4%	2,145
一般電子部品	13,628	10.8%	15,000	11.5%	1,372
その他	16,519	13.1%	16,000	12.2%	-519
計	126,183	100.0%	131,000	100.0%	4,817



主な増減のポイント

「EMS」売上高:前年同期比+4,993百万円(13.1%増)

当第1四半期において、遊技機器向け液晶ユニット等の売上が好調に推移したため、売上高の前年同期比は+4,993百万円となった。

「情報機器」売上高:前年同期比-3,174百万円(11.2%減)

加賀ハイテックの子会社再編や効率化経営体制の確立により状況は好転しているが、前年好調であった米国製携帯音楽プレイヤーの売上が伸び悩んでいることなどにより、売上高の前年同期比は-3,174百万円となった。

2008年3月期決算予想 (5月10日決算発表時の予想から変更ございません)

連結損益計算書の計画比較 (2007年3月期及び2008年3月期予想)

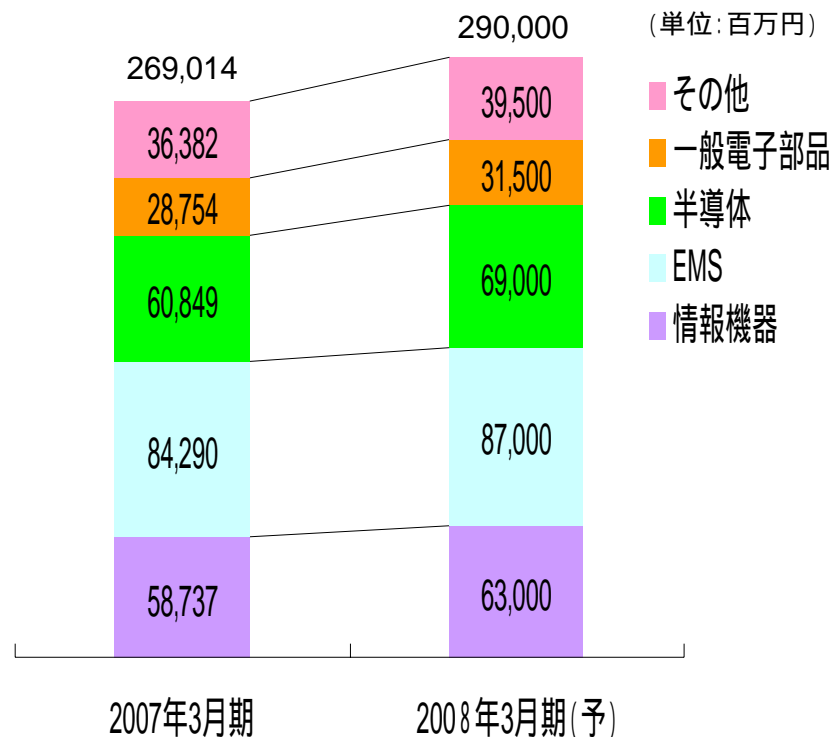
(単位:百万円)

	2007年3月期		2008年3月期 (予想)		増減
売上高	269,014	100.0%	290,000	100.0%	20,986
売上原価	236,214	87.8%	254,350	87.7%	18,136
売上総利益	32,799	12.2%	35,650	12.3%	2,851
販売費及び一般管理費	25,884	9.6%	27,800	9.6%	1,916
営業利益	6,915	2.6%	7,850	2.7%	935
営業外損益	853	0.3%	250	0.1%	-603
経常利益	7,404	2.8%	8,100	2.8%	696
特別損益	5	0.0%	-150	-0.1%	-155
税金等調整前当期純利益	7,410	2.8%	7,950	2.7%	540
法人税等	3,067	1.1%	3,250	1.1%	183
当期純利益	4,343	1.6%	4,700	1.6%	357

連結商品分類別売上高予想（2007年3月期及び2008年3月期予想）比較

(単位:百万円)

	2007年3月期		2008年3月期(予)		増減	%
	売上高	比率	売上高	比率		
情報機器	58,737	21.8%	63,000	21.7%	4,263	7.3%
EMS	84,290	31.3%	87,000	30.0%	2,710	3.2%
半導体	60,849	22.6%	69,000	23.8%	8,151	13.4%
一般電子部品	28,754	10.7%	31,500	10.9%	2,746	9.5%
その他	36,382	13.5%	39,500	13.6%	3,118	8.6%
計	269,014	100.0%	290,000	100.0%	20,986	7.8%



主な増減のポイント

「情報機器」:加賀ハイテックによる販路拡大の効果や新商材の獲得により、前年同期比+4,263百万円(+7.3%)。

「EMS」:海外EMSのアプリケーションの拡大などにより、前年同期比+2,710百万円(+3.3%)。

「半導体」:デジタルテレビ向け半導体の売上増加などにより、前年同期比+8,151百万円(+13.5%)。

「一般電子部品」:大塚電機の売上拡大や、新商材の拡販により、前年同期比+2,746百万円(+9.8%)

「その他」:コダック製品の拡販や新商材の拡販により、前年同期比+3,118百万円(+8.6%)

2008年3月期 第1四半期 決算トピックス

2008年3月期 第1四半期決算トピックス

香港の知育玩具メーカーをグループ化 玩具向けEMSの強化

2007年4月 『HANZAWA (H.K.) CO., LTD.』の株式を取得

HANZAWAグループ

ハンザワ香港を中核とした エレクトロニクス教育機器等の
企画、開発、製造までを手がけるメーカー。

豊富な実績

中国の協力工場のもつ玩具向け 特殊生産能力により、
国内大手玩具メーカーからのOEM請負などの実績豊富。

多様な販売先

ブラジルを含む新興国での販路をもち、加賀電子グループの持つ、
様々な商材の拡販も見込まれる。



➡ 加賀電子グループ内のアミューズメント機器向け
部品供給事業とEMS事業の強化 売上高50億円を目指す。

2008年3月期 第1四半期決算トピックス

アミューズメント機器の販売会社を分社化。

2007年4月 「加賀アミューズメント株式会社」を設立

アミューズメント施設への機器販売や、メーカーとの共同開発によるアミューズメント機器の製造開発をサポート。

・2006年8月

「エイブルコーポレーション」社のアミューズメント機器販売事業を加賀電子が事業譲受。

・2007年4月

会社分割により、加賀電子からアミューズメント機器のディストリビューション部門を分社化。

→ アミューズメント機器メーカーへの部品販売に加え、機器の販売によりメーカーとの連携を強化。

売上高50億円を目指す。



KAGA AMUSEMENT



2007年6月より販売開始



加賀電子株式会社

〒113-8503

東京都文京区本郷2-2-9

センチュリータワー

問合せ先: 広報室

TEL:03-4455-3131

FAX:03-3815-6807

E-mail: webmaster@taxan.co.jp

<http://www.taxan.co.jp>